

大分大学大学院工学研究科博士後期課程 入学者受入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することを理念とします。

教育・研究の目標

本学の教育・研究の目標を踏まえ、工学研究科博士後期課程においては、各専攻分野における高度でかつ最先端の知識を身につけ、独立して研究を展開し、国際的に活躍できる指導的技術者・研究者を育成します。

求める学生像

前述の目標を達成するために、工学研究科博士後期課程においては次のような意欲と熱意をもっている人を求めます。

1. 科学技術を深く探求し、独創的研究に取り組む意欲をもっている人
2. 新たな分野や理論の創出に意欲をもっている人
3. 国際的視野や感覚をもち、世界的研究をめざしている人
4. 人間性豊かで、人類福祉に貢献しようとする志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本研究科では、前述の「求める学生像」にふさわしい人を選抜するために、一般入試のほかに特別入試（社会人、外国人留学生）を実施し、学生を選考します。

・一般入試

志望する研究分野の基礎となる科目と英語の筆記試験、修士論文又は研究成果、志望する研究分野に関する科目、入学後の研究計画等についての口述試験及び書類審査の結果を総合して判定します。

・社会人入試

志望する研究分野に関する専門科目、英語、研究業績、入学後の研究計画等についての口述試験と書類審査の結果を総合して判定します。また、研究計画書及び職務履歴書について試問します。

・外国人留学生入試

一般入試に準じます。ただし、筆記試験は、志望する研究分野の基礎となる科目と日本語とします。